

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人宇陀市社会福祉協議会 児童発達支援事業所 にじいろこあら		
○保護者評価実施期間	令和7年1月21日		令和7年2月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和7年1月30日		令和7年2月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置数の充実。	主担任の他、複数体制で療育を行い、一人ひとりの発達・特性に応じた支援を心がけている。	研修や専門職からの指導等の機会を増やし、職員の質の向上を図る。
2	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・随時または必要に応じて相談日を設け、個別相談を受けるようにしている。 ・コミュニケーションツールやサインを通して、伝達するよう心がけている。 	フィードバック時や日々の会話から、子どもや保護者の気持ちを汲み取り、支援できるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもや保護者に向け、ホームページやSNS等で活動概要や情報等があまり発信されていない。	令和5年度からホームページにて概要を掲載しているが、周知が足りていない。また、日々の活動内容や様子等の掲載を行っていない。	ホームページを活用し、日々の様子を発信できるよう検討していく。
2	ヒヤリハットの記録管理の不十分さがある。	ヒヤリハットの共有は定期的に行っており、全職員への周知はできているが記録管理が、十分ではない。	ヒヤリハット報告書を作成し、発生した状況や原因、考えられる対策を記載し共有する。また、再び同様の状況が発生しないよう、確実な回避手法を検討する。